

河川

河川事業(10水系:新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、加古川水系、揖保川水系、円山川水系、由良川水系、北川水系、九頭竜川水系)
 建設ダム事業(3箇所:大戸川ダム、足羽川ダム、九頭竜川上流ダム再生)
 地すべり対策事業(1箇所:亀の瀬地区)
 砂防事業(4箇所:六甲山系、木津川水系、九頭竜川水系、紀伊山系)
 海岸事業(1箇所:東播海岸)

国民の安全・安心の確保

治水対策～災害防止のための水害・土砂災害対策を重点的に実施～

近年大きな災害があった地域において、緊急的な対策を実施することで再度災害を防止します。また、事前の防災対策を加速し、地域の安全・安心を確保します。

■円山川遊水地事業



■桂川治水対策



■足羽川ダム建設事業



■大戸川ダム建設事業



■加古川中流部緊急治水対策



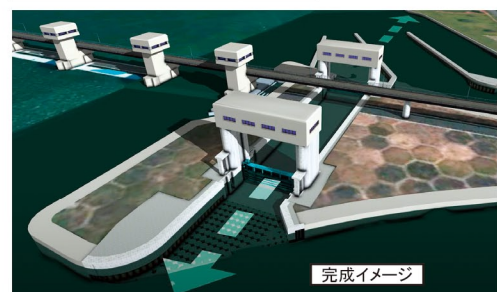
■阪神なんば線淀川橋梁改築事業



■紀の川藤崎狭窄部対策



■淀川大堰閘門整備



■名張かわまちづくり一体型浸水対策事業



■大和川中流域強靱化事業 (R3年度特定都市河川指定)



■紀伊山系直轄砂防事業

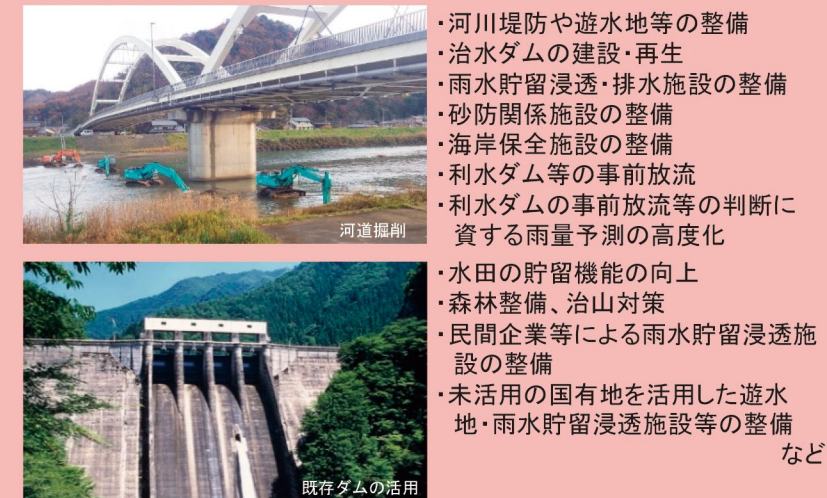


流域治水の推進

気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化に対応するため、抜本的な治水対策として、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、あらゆる関係者と協働して、ハード・ソフトの両面から「流域治水」を推進していきます。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



■被害対象を減少させるための対策



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



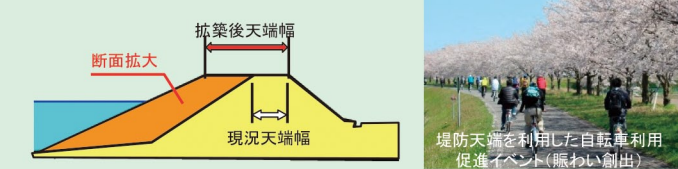
グリーンインフラの取組の推進

河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境等の保全・再生を推進します。湿地整備のための掘削土砂を堤防拡築に活用するなど、良好な河川環境と安全・安心の確保の両立を図ります。

■湿地整備



■掘削土砂による堤防拡築



住民自らの行動に結びつく 水害・土砂災害情報の共有・発信

「逃げ遅れゼロ」を目指し、地域住民の皆さんに、水害リスクを認識し、積極的に自らの避難行動を考えてもらえるよう情報を発信するとともにマイ防災マップやマイ・タイムラインの作成支援を行っています。



観光を通じた地域振興に資する インフラ活用の取組

普段入れない場所に入って、土木の役割の理解と親しみを一層深めるため、民間会社によるツアー等と連携しながら、ダム等のインフラを観光資源として活用するインフラツアーを開催しています。

